

令和 6 年度柏原市立歴史資料館等運営協議会

会 議 録

日 時 令和 6 年 5 月 28 日（火）

午後 2 時～ 4 時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

会議出席者

委員

綿貫友子（会長）、網 伸也、櫻澤 誠、岡本泰典、渡辺宏治、

山川 薫 6 名

事務局

新子寿一（教育長）、桐藤英樹（教育部長）、裏山恵一（文化財
課長）、山根 航（文化財課参事兼課長補佐）、安村俊史（歴史
資料館館長）、越智勇介、黒田和希（歴史資料館学芸員）

1. 開会（13 時 55 分）

進行・山根

2. 新子教育長あいさつ

3. 委嘱状交付

4. 委員紹介

5. 事務局紹介

6. 議事

①会長・副会長の選出

会長・副会長は委員の互選によって定めるとなっているが、自薦・他薦ともなかったため、事務局から会長に綿貫委員、副会長に網委員を提案し、委員全員一致で決定。

〔議事は会長が進めるとなっているため、以下綿貫会長が議事進行〕

②令和5年度事業報告

（1）歴史資料館関係 安村報告

（2）横穴管理運営関係 山根報告

〔資料参照〕

【質疑】

○こども歴史講座について

委員：こども向けの新事業を評価したい。終了証の発行等を行っているか。

事務局：こども歴史 KID s の認定証を作って、参加者に授与している。

委員：修了式を実施して、終了証を交付してはどうか。

委員：関西福祉科学大学高校でも同時期に歴史講座を実施しているので、日程調整等を図っていただいたほうが良いと思う。

○オンラインガイドツアーについて

委員：このような事業は、どんどん実施していただきたい。

事務局：基本的に毎月1回、休館日に同時配信で実施している。

委員：同時配信ならば利用者が限られるので、ユーチューブでの配信はできないか。

事務局：今年2月から、ダイジェスト版で5～10分に編集して10本程度発信している。300回程度のアクセスがある。

委員：広報紙だけでなく、もっとPRはできないか。

事務局：ホームページでは紹介しているが、ほかの PR 方法も検討していきたい。

委員：もう少し情報があれば、委員からも紹介できるのではないと思う。

○資料の公開について

委員：ホームページ上で、所蔵資料の公開等の取組みはできないか。

事務局：古文書については目録や写真があるので公開は可能であるが、さまざまな情報発信に取り組んでいるところで、資料公開の事業には取り組むことができていない。

委員：ホームページは多数の方が利用できるのに、資料公開への取組みはぜひ実現してもらいたい。

○海外からの問い合わせ等について

委員：海外からの問い合わせは増えているか。

事務局：韓国以外にも欧米などから、資料の問い合わせや写真の提供依頼が増加している。

○国際交流事業について

委員：柏原市の国際交流の担当課はあるのか。

事務局：にぎわい観光課が担当課であるが、市としての国際交流は、現在ほとんど実施できていない。しかし当館だけでなく、市長や議会、担当課にも状況を報告し、市として取り組んでいる事業である。将来的には博物館の交流だけでなく、市民や子どもたちの交流が実施できればいいなという話も出ている。

○ユーチューブの活用について

委員：ユーチューブは学校でも利用する機会が多いようなので、もっと活用に取り組んでもらいたい。

委員：無理のない範囲で、ユーチューブの公開等への取組みも期待したい。

○こども歴史講座について

委員：講座に参加した子どもたちから、柏原の歴史を伝えていく人材が育っていくことを期待したい。

③令和6年度事業計画

(1) 歴史資料館関係 安村報告

(2) 横穴管理運営関係 山根報告

〔資料参照〕

【質疑】

○日本遺産関連事業の取組みについて

委員：日本遺産関連事業の進捗状況はどうか。

事務局：柏原市では、「龍田古道・亀の瀬」と「葛城修験」の2件が日本遺産に認定されている。今後、文化庁の評価が実施されることになっているが、現状は多くの方が訪れているので評価を心配することはないと考えている。事業はにぎわい観光課の担当で、文化財課・歴史資料館が歴史関連の部分を担当している。

○夏季企画展について

委員：稲垣重綱をよく知らないが、柏原市立歴史資料館としては珍しい取り組みだと思う。どのような経緯で取り組むことになったのか。

事務局：稲垣重綱は大坂城番の人物で、国分村を治めていた期間は短いが、国分村の発展において重要な人物なので、紹介したいと考えている。

委員：これまでは考古学や古代のテーマが多かったので、このような取り組みは新鮮なのではないか。期待している。

○遺跡の紹介について

委員：現地に行っても遺跡の位置がわかりにくい。文化財保護審議会の検討事項になると思うが、現地での表示や案内板等でわかりやすくできるようにしてほしい。

事務局：同様な指摘は、確かにある。説明板等は設置しているが、もう少しわかりやすくできるように検討していきたい。

○市立玉手山公園の歴史館について

委員：玉手山公園内の歴史館に展示物があるが、資料の保管状況が悪い。問題なのではないか。資料館で対応できないのか。

事務局：公園内の施設であり、公園担当課が管理しており、当館は関わっていない。担当課と相談したい。

○こども歴史講座について

委員：今年度実施するこども歴史講座の内容について問う。社会教育課や学校などと連携すれば、もっと多くの参加者を集めることができるのではないか。

事務局：今年度は木簡の製作、縄文原体の製作、実物資料の洗浄や接合など、当館でなければ体験できない、本物の歴史に触れることができるような事業を計画している。昨年度9人の参加者で対応が大変であった。この内容では15人程度が限界と考えており、広く募集することは今のところ考えていない。

○「柏原」の地名語源について

委員：「柏原」の語源について個人的に研究してきた。これも参考に、語源の解明に取り組んでもらいたい。

事務局：史料上は中世までしか遡らず、古代の地名としては見えない。史料に基づいて考えると、現在のところ不明とせざるを得ない。

○遺跡の維持・管理について

委員：遺跡の維持・管理のあり方が心配であるが、今後はどのようなになるのか。

事務局：高井田横穴の保存など問題となっている点が多いが、現状維持を図れるように取り組んでいる。今後も維持・管理には努めていきたい。

7. 閉会

裏山課長よりあいさつ

(終了 16 時 00 分)